

シリーズ
防災安全
No.32

特別警報

「特別警報」という言葉を初めて耳にする方も多いかもしれませんが、気象庁はこれまで、大雨や地震、津波、高潮などにより甚大な被害の起こるおそれがある時に、警報を発表して警戒を呼び掛けていました。

この度、より甚だしい大雨や大きな津波等が予想され、重大な災害による危険性が高まっていることをお知らせし、特別な警戒を呼び掛けるために、新たに「特別警報」が発表されます。(遅くとも8月下旬までに開始が発表されます)

特別警報の対象とする現象は「東日本大震災」や、犠牲者5,000人以上を出した「伊勢湾台風」、紀伊半島に甚大な被害をもたらした「平成23年台風12号」の豪雨等が該当します。

特別警報が出た場合、お住まいの地域は数十年に一度しか無いような非常に危険な状態にあります。屋外の状況や、避難指示・勧告等に留意し、ただちに命を守るための行動をとってください。

また、大雨等の被害を防ぐには、時間を追って発表される注意報、警報やその他の気象情報を活用して、早め早めの行動を取ることを心がけましょう。



特別警報の詳細は、気象庁ホームページでご確認ください。

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/tokubetsu-keiho/index.html>

～ みつけよう ぼくとわたしにできる自助 ～

シリーズ
包括支援
No.32



こんにちは 八百津町地域包括支援センターです

～熱中症が急増中!!～



梅雨入り後も猛暑が続き、本年は熱中症で病院に救急搬送された人、死者人数が過去最多となりました(6月時点)。特に、高齢になると「加齢による体内の水分不足」「暑さに対する調節機能・感度の低下」などの要因で熱中症になりやすいため、注意が必要です。若年～中年層は主に炎天下で熱中症を発症しますが、高齢者は室内でも起こりやすく、重症化しやすいのが特徴です。

予防の基本は、「こまめな水分補給」「保冷剤・冷たいタオルなどによる体の冷却」ですが、室温が28度を超えないようにエアコンや扇風機を上手に使ったり、外出時は体を締め付けない涼しい服装で、日よけ対策を施すなどの工夫をしましょう。重症化しないためにも早めの対応を心がけてください。

<8、9月 お元気サロンの予定>

- ・8/28(水)9/4(水)9/18(水) お元気サロン福地 9時30分から11時30分まで 場所:福地第四公民館
- ・8/8(木)8/22(木)9/12(木)9/26(木) お元気サロン八百津 9時30分から11時30分まで 場所:福祉センター

<8、9月 こころの相談の予定>

- ・8/12(月)9/9(月) 高齢者のための「こころの相談」(事前に予約が必要です) 個別に対応し秘密は厳守します。

高齢者虐待と聞くと、みなさんはどのように想像されますか? 「真っ暗な檻の中でぐるぐると歩き回っているような日々だった。親を殺める事が解放される道。そうとさえ考えた」これは認知症の母親に暴言・暴力をおこない、虐待と判断された男性の言葉です(朝日新聞) 介護者の苦悩がうかがえます。孤立介護が増えた昨今、誰にでも起こりうる問題と言えるでしょう。周りにSOSを送り、一人で悩まない事が大切です。

辻 (社会福祉士)

お問い合わせ 八百津町地域包括支援センター ☎ 43-3267 または 43-2111 (内線 2566・2567)